

早春の候

このたびは、ご多忙のところご来福のうえ、東日本大震災の被災に対しまして、ご厚情あふれる励ましのおことばと支援激励金を賜り厚くお礼申しあげます。

テレビや新聞等で報道されている通り、福島県は津波・地震・原発事故の直接被害に加えて風評被害、汚染水もれ事故等により多大な被害を受け、問題解決の糸口が見つからない状況です。

また、現在老人クラブにおいては、10地区町村老連の会員（震災時会員数：207クラブ11,797名）が故郷を離れた場所での生活を強いられ、単位クラブごとの活動再開が難しい地域が多く存在します。

しかしこのような中、連合会活動は全老連を通して頂戴いたしました救援拠金を活用させていただきグラウンド・ゴルフ、ニュースポーツなどの健康づくり活動や子どもたちとの交流、スポーツ民踊、趣味活動など生きがいづくり活動を行っております。震災前の活動に戻ることはもう少し時間が必要ですが、自分たちの置かれた環境の中で可能な範囲の楽しい活動をし、住み慣れた我が家に戻れる日を待っております。

東日本大震災から、3年がたち人々の心からあの悲劇の記憶が薄れている中、兵庫県老人クラブ連合会の皆様の福島県に対するまごころがたいへんありがたく心から感謝いたします。

今後は、これまで以上に福島県内老人クラブが一丸となって復興活動に取り組んでまいりますので、今後とも末永く心を寄せていただきたくお願い申しあげ御礼のことばといたします。

敬 具

平成26年3月3日

公益財団法人兵庫県老人クラブ連合会

会 長 田 中 讓 治 様

公益財団法人福島県老人クラブ連合会

会 長 渡 部 盛 美